

隈東地区 ためいけだより 第4号



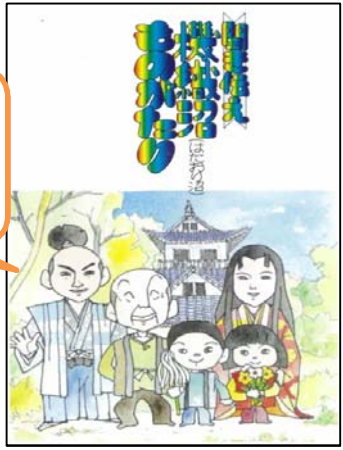
機織沼で集合写真をぱちり

平成23年8月30日(火)に「第3回地域のため池を考える会～他のため池を見てみよう～」を開催しました。
今回は、今後の活動を進めていく上で、ため池の利活用の方法や整備手法の参考とするために、宮城県北部、岩手県との県境にある登米市の機織沼(はたおりぬま)と平筒沼(びょうどうぬま)を視察しました。

機織沼

機織沼は水面の広さが3.6ha、間接的に40haの水田に用水を供給しています。「機織沼地区保全隊」が年3～4回の除草、小学校へのお出前講座、小学生とのブラックバス駆除などの現地活動、かがり火鑑賞会などの活動を実施しています。

沼に伝わる昔話を保全隊で冊子まとめました



「機織沼地区保全隊」のメンバーより活動内容の報告



沼エビがいるぞ



みなさん真剣に聞き入っています。



昼食は「道の駅みなみかた」で地元食材バイキングをいただきました。産直も併設されており、たくさんの品が並べられていました。



平筒沼

平筒沼は水面の広さが35ha、58haの水田に用水を供給しています。188mの浮棧橋・2.8kmの遊歩道・多目的ホールなどがあり、イベントなどに使用されており、登米市が管理しています。



全景が写真に納まりません！



でっかいな～

ため池の浮棧橋なんて珍しい・・・



真似してみたいこと

機織沼・平筒沼を視察して

真似が難しいこと

共同作業の草刈り
公園のようにしたい
散策コースの設置
みんなで協力していること

機織沼

維持管理 予算
保全隊の結成
地域住民の意識改革
遊歩道

自然を生かして人を集める
癒し空間としての活用

平筒沼

資金
維持管理が大変

全体の感想

自分の所は自分に合ったように考えた方がよい。
あまり参考にならない。

普段何気なく米や野菜を食べていたが、ため池の管理が大変なことを知り、大切に食べなければいけないと思った。

学生の感想

発行者 : 地域のため池を考える会
問い合わせ先 : 角田隈東土地改良区
電話 : 0224-63-1001

視察の結果、みなさん様々に考えることがあ
るようでした。